令和８年度　皇學館大学研究開発推進センター神道研究所

公開学術シンポジウムのご案内

神道における大麻の位置
―教学と歴史の観点から―

【日　時】12 月 19 日(土)
13：30～17：00

定員
50名

【場　所】皇學館大学 佐川記念神道博物館講義室

【聴講料】無料 ※事前申込み制

※ご来場は公共交通機関をご利用ください

［開催趣旨］

神道において大麻は祓えや鈴緒などにおいて不可欠の素材でありながら、教学や歴史の観点からほとんど研究されてこなかった。そして、戦前においては米に次ぐ農産物であったにも関わらず、今やほとんど忘れさられ、国産品は入手困難で、農家は絶滅の危機にある。

そこで、本シンポジウムにおいては、まず神道や三重県との関係で、大麻が如何に大切なものであるのかについて、歴史と教学の面から検討し、あわせて、大麻生産を持続可能にするための取り組みを紹介し、今後を展望してみたい。

［発題者］

高安　淳一　氏（大麻博物館館長）
「大麻の歴史ー特に聖地についてー」

佐野　真人　氏（本学研究開発推進センター副センター長、同センター神道研究所准教授）
「天津菅麻についての考察を中心に」

松本　信吾　氏（株式会社伊勢麻 共同代表）
「精麻生産の現況と課題-危機的な状況にある神事の型-」

菟田　中子　氏（ヘンプイノベーション株式会社代表取締役社長）
「日本における大麻産業の現状と課題」

千田 良仁　氏（本学特任教授、明和観光商社代表理事）
「天津菅麻プロジェクトの意義と展望」

［コーディネーター］

新田　均　氏（本学特別教授）

【お問合せ先】
〒516-8555
三重県伊勢市神田久志本町 1704 番地
皇學館大学研究開発推進センター
神道研究所
TEL　：(0596) 22-6469
FAX　：(0596) 22-6463
E-mail：sken@kogakkan-u.ac.jp

【参加申込用 QR コード】